

令和7年度 江戸川区立篠崎第五小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	思いやりのある子 よく学びよく考える子 心も体もつよい子		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	夢と勇気と笑顔にあふれる学校 学力と体力が向上する児童 正しく丁寧な言葉遣いをする 「分かる授業」を追求する 心が通う明るく温かく元気な太陽の挨拶をする 「言ったことは最後まで」徹底する 教職員	
前年度までの本校の現状	成果	・子供たちはどの学習にも前向きに取り組み、自分の力を伸ばそうとする姿が見られた。 ・「かかわり」を大切にすることで、豊かな心を育むことにつながった。 ・各学年の学習に竹林や田んぼ、畑などを使った活動を位置付け、地域や保護者の方々の協力をいただきながら活動を行うことができた。	課題	・基礎・基本の定着を目指し、一人一台端末を活用したり、家庭学習の習慣化を図ったりすることが課題である。 ・本校の伝統である裏庭を活用した学習を今後も大切にし、「かかわり、共育・協働のある学校づくり」を継続的にやっていく。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・授業スタイル「篠五授業スタンダード」の実施	・毎学期確認し、教員内部評価の肯定回答9割	85%		B	・どの学級も授業スタンダードに基づき授業が行われており、教員向け中間評価では「スタンダードを実践している」との回答は94%であった。	B	・子供たちが学習に積極的に取り組んでいる姿が見られることが大変よい。基礎学力の向上に今後も努めていきたい。					
		・学校だよりや「江戸川っ子study week!」等で家庭学習習慣について啓発	・家庭学習時間（学年×10分）の実施率8割	80%		B	・6月に1回目のstudy week!を実施した。児童の家庭学習の様子を認める声かけを保護者にお願いしている。	B	・家庭との連携はとても大切である。学校での取組を家庭でも実践できるように啓発して行ってほしい。					
	○読書科の更なる充実	・学校図書館を利用した「問題の発見・解決、情報の処理、まとめ・表現する」調べ学習の実施	・2年生以上において毎学期実施	80%		B	・図書館支援員と連携して調べ学習用の図書を用意したり、読書科の授業を学校公開で保護者に見ていただいたりして、充実に努めた。	B	・蔵書システムを活用して調べ学習の特に情報収集に役立ててほしい。 ・区の施設をたくさん活用できるとよい。					
体力の向上	○体力向上のための取り組みの実施・充実	・なわとびチャレンジウィーク年3回、持久走週間（11～12月）の実施	・児童アンケート「休み時間、校庭で遊びや運動ができた」の肯定回答9割	85%		B	・6月に1回目のなわとびチャレンジウィークを実施した。たてわり班内で教え合ったりほめたりする姿が見られた。	B	・元気よく遊んでいる姿や運動に取り組んでいる姿が見られる。今後も継続してもらいたい。					
		・体育科の授業改善の推進	・体育の授業に関する研修会年1回、研究授業年6回の実施	85%		B	・1学期に研修会1回、研究授業2回を実施した。講師の先生の指導のもと、授業改善に取り組んでいるところである。	B	・児童が楽しみながら運動に取り組む、体力向上や生涯を通じた運動習慣につなげてもらいたい。					
共生社会の実現に向けた教育の推進	○特別支援教育の推進	・巡回指導教員を中心とした研修会、授業の実施 ・特別支援教育コーディネーターを2名配置し、支援体制を整える。	・年2回実施 ・校内委員会の毎月実施	80%		B	・校内委員会の巡回指導教員の参加や連絡ファイルの活用を通し、巡回指導教員との連携を図り、一人一人の児童に寄り添った支援を行っている。	B	・様々な子がいるが、どの子も生き生きと生活している様子が見られる。子供たちにとって安心できる学校をつくってってもらいたい。					
	○副籍交流の実施・充実	・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施	・各学期2回以上の実施	85%		B	・鹿本学園と連携し年間指導計画を作成した。また、交流学习も進めており、1学期は3回実施することができた。	B	・どの子も地域で育つという点で交流学习は大切な土台となる。今後も組織的な対応に期待している。					
不登校・いじめ対応の充実	○豊かな心の育成	・たてわり活動、全校校外活動などかかわり合いのある活動の充実	・児童アンケート「思いやり」「良好な友達関係」の肯定回答9割	85%		B	・毎月1回異学年集団でのたてわり活動を実施している。6年生を中心に楽しく交流する児童の姿が見られる。	A	・異学年での交流が充実し、6年生を中心に子供たち同士のかかわりが生まれていることは大変よい。					
	○いじめ・不登校の未然防止	・いじめ対策基本方針に基づいた児童の健全育成といじめの防止、早期発見や早期対応の強化	・いじめに関する授業を各学級学期1回以上実施	85%		B	・6月に各学級でいじめに関する授業を実施した。日常の児童観察に努め、早期発見・早期対応を実践している。	A	・不登校児童がいないこと、いじめの早期発見・早期解決は素晴らしいことであり、今後も努めてもらいたい。					
		・児童一人一人の実態に合わせた生活指導の充実 ・SC、SSWとの連携強化	・児童の情報共有を生活指導夕会で週1回実施	85%		B	・毎週1回、生活指導夕会を実施している。 ・SC、SSWと情報共有を図り支援につなげている。	B	・今後もどの子も楽しく学校に来られるように児童理解と支援に努めてほしい。					
学校・地域	○学校（園）ホームページの充実等	・学校ホームページの更新	・学校だより・学年だより等を月1回、「できごと」を週3回以上更新	80%		B	・毎月始めに学校だより・学年だより等を、週3回以上「できごと」を更新し、教育活動の様子を保護者や地域の方に発信することができた。	B	・学校だよりやホームページから学校の様子がよく伝わってくる。今後も子供たちの様子を積極的に伝えていきたい。					

園 域 の 実 現	○学校関係者評価の充実	・児童、保護者、教職員へのアンケート調査の実施 ・学校評議委員会の開催	・児童年1回、保護者年7回、教職員年2回実施 ・年3回実施	80%		B	・体育発表会や学校公開で保護者アンケートを実施した。いただいた意見を次年度の教育活動計画に生かすようにしている。	B	・学校評議委員会では、子供たちの様子について学校と情報交換できている。地域としてできることを応援していく。					
	○学校公開の実施・充実	・学校公開の実施、ホームページでの周知	・年4回	80%		B	・6月に学校公開を実施した。今後は、10月、11月、1月に学校公開を実施する予定である。	B	・学校公開では、子供たちが落ち着いて学習に取り組む様子や意欲的に取り組む様子が伝わってきた。					
教育 の 展 開	○田んぼの学校、篠竹の学校、農園のある学校としての活動の充実	・1～4年生は農園での野菜作り、5年生は稲作、6年生は筍堀りを行う。	・農園活動についての児童、保護者の肯定回答8割	85%		B	・PTAや学校応援団の協力を得て、順調に活動を行っている。農園が子供たちにとってよき学びの場となっている。	A	・農園は篠五小の大きな特長なので、今後もいろいろな方の協力を得て大切にしていってほしい。					
	○規律が保たれ、すべての児童が安全に安心して過ごせる学校づくり	・「静・整・動」（話を聞く・時間を守る、掃除を大切にすること・挨拶をする）に重点的に取り組む。	・児童アンケート「『静・整・動』を意識して生活できた」の肯定回答8割	80%		B	・7月の教員内評価では「整（時間・掃除）」の肯定回答が低かった。今後の課題として指導を充実させていく。	B	・子供たちは元気なあいさつができています。今後もあいさつを柱に子供たちの教育にあたってほしい。					